



平成 28 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名：ウエルシアホールディングス株式会社
代表者名：代表取締役社長 水野 秀晴
(コード番号：3141 東証第一部)
問合せ先：取締役兼執行役員IR担当 中村 壽一
(TEL：03-5207-5878)

資本・業務提携に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 5 月 13 日開催の当社取締役会において、株式会社クスリのマルエ（以下「マルエ」という。）との間で資本業務提携契約を締結することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 資本業務提携の目的

ドラッグストア業界を取り巻く環境は、高齢化社会の進行によって医療費の抑制や調剤報酬の見直しが行われ、医薬品の規制緩和によって異業種間での出店競争や価格競争が激化し、生き残りをかけた業界再編も強まり厳しい状況が続いております。

このような環境下において、当社グループは、平成20年9月に持株会社を設立し、グループ入りした企業のノウハウや人材資源を適宜共有できる体制を整備し、地域における強固な地位を確保するために独自のビジネスモデルである「ウエルシアモデル」の店舗づくりに努めてまいりました。

併せて、地域の有力企業との連合体として、グループの質、規模を拡充し日本一のドラッグストアに向けて、調剤事業を中心とした施策を推し進めてまいりました。

一方、マルエは、群馬県を中心に、「価格サービス」から「価値サービス」を追求し、「安心と安全」「美と健康」「夢と希望」を提供するソリューションストアを目指し、「お客様に一番近いドラッグストア」として事業展開を行っており、「進化」「深化」「信化」を中心とした接客重視の社員教育にも積極的に取り組んでおります。店舗についてはマルエドラッグとして群馬県48店舗、埼玉県5店舗、栃木県2店舗の計55店舗（平成28年4月末現在）、マルエ薬局として群馬県内に8店舗を展開しております。

この程、マルエとの関係を強化することは、ドラッグストアとして存在感のある企業グループを目指す当社グループにとって、ドミナントが強化され関東地区において優位に展開することができ、特にマルエの化粧品販売のノウハウを取り入れることで、当社グループの目指す都

市型モデル店舗の確立に効果を発揮するものと考えております。それぞれの保有するノウハウや人材等の経営資源を共有することで、シナジー効果を発揮し、より一層の企業価値向上に向けて全力で取り組んでまいります。

2. 本提携の内容

(1) 業務提携の内容

- ① マルエは、特に得意分野としている化粧品販売の店づくりや販売ノウハウを積極的に当社に提供し化粧品販売の強化に協力するものとする。
- ② 当社は、営業面・システム面・店舗開発面・経営管理面等でマルエと連携を図り、ノウハウを共有することで営業力強化に協力する。

(2) 資本提携の内容

マルエの株主が所有する株式を譲り受けることにより取得いたします。

①	異動前の所有株式数	一 株 (所有割合 ー%)
②	取 得 株 式 数	19,200 株
③	異動後の所有株式数	19,200 株 (所有割合 20.0%)

(注) 取得価額については、売主との合意により非公表とさせていただきます。なお、取得価額は、当該会社の最終的な純資産等に基づく専門家のデュー・デリジェンス実施後、売主と調整の上、決定いたしました。

(3) 株式取得の相手先の概要

株式取得の相手先は個人株主2名となります。この2名の希望により、氏名・住所を非公表とさせていただきます。なお、当社及び当社の関係会社と当該個人との間で記載すべき資本関係、人的関係、取引関係、その他特筆すべき関係はありません。

3. 資本・業務提携先の概要（平成 27 年 9 月 15 日現在）

①	名 称	株式会社クスリのマルエ	
②	代 表 取 締 役	江黒 昭	
③	所 在 地	群馬県前橋市樋越町 83	
④	設 立 年 月 日	昭和 48 年 4 月 3 日	
⑤	事 業 内 容	ドラッグストア・調剤薬局の経営	
⑥	資 本 金	48,000 千円	
⑦	発行済株式総数	96,000 株	
⑧	大 株 主 及 び 持 分 比 率	江黒 純一 50.0% 江黒 昭 21.4% 江黒 太郎 15.9%	
⑨	上場会社と当該会社との関係	資本関係	該当事項はありません。
		人的関係	
		取引関係	
		関連当事者への該当状況	

4. 日程

平成 28 年 5 月 13 日	取締役会決議日
平成 28 年 5 月 13 日	資本業務提携契約締結日
平成 28 年 6 月 1 日（予定）	株式譲渡日

5. 今後の見通し

当社及び連結業績に与える影響は軽微であります。

以上